

はじめに

『シラバス』は、共通教育科目、各学科専門教育科目、資格取得に関する専門教育科目の各授業科目について、必修・選択の別、単位数や開講期及び授業内容の概要が分かるようにまとめたものです。

ナンバリングについて

◇ナンバリングとは

ナンバリングとは、授業科目に内容・レベル等に応じた番号・記号を付し分類することで学習の段階や順序を表し、教育課程の体系性を示すものです。

◇本学のナンバリングの仕組みと具体例

すべての授業科目に系統ナンバーが付与され、本学では4桁の英数字から構成されています。これを参考にして系統的な学習を進めてください。

◆ 構 成 ◆

科目の分類		科目の段階（レベル）
学科	系	対象学年・開講期
1桁	2桁	1桁
L：共通	00固定	1：1年前期 2：1年後期 3：2年前期 4：2年後期
C：キャリア	01：ベーシック 02：ビジネス実務 03：デジタル情報 04：司書・公務員 05：医療事務 06：ファッション 07：製菓・カフェ 08：観光 09：健康スポーツ 10：ライフデザイン 11：フリー	
H：保育	01：保（保育士）必修 02：幼（幼稚園教諭）必修 03：保幼（保育士および幼稚園教諭）必修 04：保（保育士）選択	

◆ 具体例 ◆

【保育学科 幼稚園教諭必修 2年前期開講】科目の場合

H

02

3

学科

系

開講期

目 次

・ 共通教育科目	
・ 1 年生	4
・ 2 年生	28
・ 保育学科 専門教育科目	
・ 1 年生	46
・ 2 年生	106
・ 資格取得に関する科目	
・ 司書資格に関する専門教育科目	166
・ 令和7年度カリキュラムマップ（ダイジェスト）	168
・ 索引	173

共通教育科目

『学習成果』

- 基礎的な学習スキルと幅広い教養を身につけ、社会生活にいかすことができる。
- 現代社会に対応できる総合的な判断力とコミュニケーション能力を有し、主体的行動をとることができる。
- 社会への貢献をめざして、自己啓発を続け、自他を慈しみ協働することができる。

『ディプロマ・ポリシー(DP)』 卒業の認定に関する方針

■聖和学園短期大学のディプロマ・ポリシー

本学は、建学の精神である仏教の教えに基づき、「慈悲」の心、「和」の心を身につけ、「智慧」を修める人間教育を通して、地域社会に貢献する有能な人材を育てることを教育理念としている。学則に定める所定の単位を習得し、各学科の教育目標に沿った能力を身につけた学生には、卒業を認定し短期大学士の学位を授与する。

1. 職業人として必要とされる幅広い教養と専門的知識や技能を身につけている。
2. 課題を自ら発見し、その解決に向けて考察することができる。
3. 常に学び続け、身につけた知識や技能をいかして、地域社会に貢献しようとする意欲をもっている。
4. 社会の一員としての自覚と責任をもち、多様な人と協働することができる。
5. 他者の考えを受けとめ、自分の考えを状況に応じた方法を用いて的確に表現することができる。

共通教育科目シラバス目次

－ 1 年 －

●必修 ○選択

科目名	授業形態	単位数	開講期		担当者	ナンバリング	ページ
			1前	1後			
聖和総合教育	演習	2	●	●	専任教員	L001	4
人間と仏教	講義	2		●	鎌田 文恵・鎌田 清寛	L001	6
文学入門	講義	2	○		関根 俊二	L001	8
心理学入門	講義	2	○		劉 慧存	L001	10
ボランティア	演習	1	◎	◎	齋藤 美香・関根 俊二	L001	12
社会福祉入門	講義	2	○		齋藤 美香	L001	14
ライフデザイン総合	講義	2		○	堀 良平・君島 智子 齋藤 美香	L002	16
英語コミュニケーション	演習	2	○		川 辺 博	L001	18
韓国語入門	演習	2	○		文 慶喆・黄 孝善	L001	20
情報処理演習Ⅰ	演習	1	○		岡 本 恭 介	L001	22
情報処理演習Ⅱ	演習	1		○	岡 本 恭 介	L002	24
海外文化研修	演習	2		○	キャリア科教員・小森谷一朗	L002	26

－ 2 年 －

科目名	授業形態	単位数	開講期		担当者	ナンバリング	ページ
			2前	2後			
暮らしの中の憲法	講義	2		○	三 森 敏 正	L004	28
経済のしくみ	講義	2	○		本 吉 祥 子	L003	30
暮らしと科学	講義	2		○	丸 山 穰	L004	32
環境と自然	講義	2	○		高 田 淑 子	L003	34
体育理論	講義	1	○		石 森 真 由 子	L003	36
健康スポーツ	実技	1		○	石 森 真 由 子	L004	38
海外文化研修	演習	2		○	キャリア科教員・小森谷一朗	L002	26

「共通教育科目」について

本学の「共通教育科目」の目的は、建学の精神に基づく人間教育と、地域社会に貢献できる社会人を育成するため、幅広い教養を身につけ、ものを見る目を養い、物事を主体的、総合的に判断できる柔軟な思考力を培うことです。

そのため、以下の特色ある科目によって構成されています。

1. 全学生の必修科目として「人間と仏教」と「聖和総合教育」があります。
「人間と仏教」は釈尊の教えの根幹をなす、自他を慈しむ『慈悲』の心とお互いを支えあう「和」の精神を養うために、講師の講話とともに毎時間の座禅によって自己を見つめる時間を設けています。
また、「聖和総合教育」は、豊かな人間性を育み生き方について考え、社会人としてのマナーやコミュニケーション能力を高めることを目標とした、本学の特色ある科目です。少人数のゼミを基礎としながら、学年全体での取り組みを設けるなど、多彩な内容となっています。
2. 社会人としての一般教養を養う科目として、「文学入門」「心理学入門」があります。これらは他の人間を理解しコミュニケーション能力を向上させるためのものです。
一方で社会の仕組みを理解するための「暮らしの中の憲法」「経済のしくみ」、身近な科学や環境に興味を持ち、論理的思考方法を学ぶ「暮らしと科学」「環境と自然」を設置しています。
3. 働くことの意味を考え、自分の人生を自分で選択することの重要性について理解を深める「ライフデザイン総合」を設置しています。「ボランティア論」や「社会福祉概論」は社会貢献を具体的な形で考える科目です。
4. 国際化に対応するため、海外を訪問し、単なる観光ではなく学科に関連した施設での実習も取り入れた「海外文化研修」を設けています。
語学に関する科目としては基礎的な「英語コミュニケーション」「フランス語入門」「韓国語入門」が置かれています。
5. 心身の健全な育成が重要との観点から、健康に暮らすことを学ぶ「体育理論」「健康スポーツ」を設置しています。保育学科の学生は必修です。
6. 情報に関する科目としては「情報処理演習Ⅰ」「情報処理演習Ⅱ」を設置しています。ビジネスや保育実務に役立つツールとしてのコンピュータを総合的に活用する方法を学びます。

「共通教育科目」は「専門教育科目」を学ぶ上での基礎となるだけでなく、互いに関連をもって総合的に本学の目指す人間教育が達成できるよう、カリキュラムを構成しています。